

自殺 池田中

## 教育課題 町民と共有

### 町教委、年内にも初会議

池田町池田中で今年3月、当時2年生の男子生徒が自殺した問題を受け、町教委は教育、子育て環境の向上のため、学校や教委の課題を保護者や教員と共有する会議を設置することを決めた。第1回合

内藤徳博町教育長の私的諮問機関で「教育・子どもだて向上化円卓会議」とする。子ども園から中学校までの管理職と保護者代表らの人選を進めており、委員は内藤教育長含め10人前後の予定。これまで学校、行政で決めてきた教育施設それぞれの運営に町民の意見を反映させる。

年間3〜5回の開催を予定し、必要に応じて有識者を招く。同じく年内にも開き、町長や教育委員が出席する町教育総合会議に比べ、学校現場や地域の声をより取り入れて話し合うという。

内藤教育長は「個性に応じた教育や子育て環境の充実、教職員、教委の資質向上に生かしたい」としている。調査委員会による報告書では、学校と保護者間の連携不足が指摘されていた。(中坪佑香)